

第七十五回実朝忌俳句大会特選句 大会投句の部

令和五年三月吉日

選者	作品	住所	氏名
星野 椿	鎌倉に集ふ俳人立子の忌	東京都	橋本世紀男
々	実朝に会へる鎌倉海臈	東京都	目黒 琴音
々	実朝の怒濤重たき余寒かな	東京都	大久保 昇
松尾 隆 信	鎌倉の余寒真つ直ぐやつて来る	東京都	志磨 泉
々	冴え返る波に少年一人立つ	座間市	鈴木 幸子
々	実朝忌海鳴りの身をつらぬけり	東京都	大久保 昇
宮坂 静 生	庫裡に干す大き俎板涅槃の日	横浜市	山崎 妙子
々	学ぶ意味問う少年や実朝忌	茅ヶ崎市	大西 和子
々	鎌倉の余寒真つ直ぐやつて来る	東京都	志磨 泉
安田のぶ子	歌あはれ句碑に寄り添う初桜	鎌倉市	添田 洋子
々	やはらかき谷戸の日集め実朝忌	埼玉県	増田 信雄
々	梅東風をあてに魚干す由比が浜	藤沢市	広枝千鶴子